

令和3年度離島漁業再生支援交付金漁業集落实績報告

令和4年5月18日

1. 対象漁業集落の概要

都道府県名：鹿児島県

市町村名：和泊町

島名：沖永良部島

協定対象漁業集落名：えらぶ漁業集落

協定参加世帯数：72世帯（82人）

（うち漁業世帯数：25世帯（25人））

2. 協定締結の経緯

和泊町において、漁業者の減少や高齢化が進んでおり、水産業・漁村における多面的機能も失われていく懸念があるため、地域漁業の活性化を図るとともに集落の漁業生産活動によって発揮される多面的機能が確保されることを目指して離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・漁業被害の低減を図るため、サメ駆除を実施し、計2,485kg（300円/kg）を買い上げた。
- ・シラヒゲウニの種苗放流を実施。（9月：1,070個）
- ・藻場造成に係る資材購入、ホンダワラ種苗の育成及び放流を実施。

②漁業の再生に関する実践的な取組状況

- ・島内産マグロ（キハダ・メバチ等）の急速冷凍試験を行い、漁協関連会合やスーパーマーケットにて試食・アンケート調査を実施。
- ・与論町役場・与論島漁協の新規漁業者支援事業及び水産加工品事業の視察を行った。
- ・町内小学校の体験学習として、追い込み漁体験を実施。魚捌き体験及び調理を通して、伝統漁法の継承・魚食普及を図った。
- ・公民館講座とタイアップし、親子向けに漁師による漁業についての講話、魚捌き体験、刺身調理を行った。
- ・島魚料理宅配事業（「魚宅サービス」）により、町民の魚食普及を図った。
- ・島内産水産物の消費を促進するため、鮮魚店の情報・島魚レシピ等を記載したリーフレットを作成した。
- ・和泊町農業祭において、イセエビ汁、ソデイカの加工品の試食・販売を行った。

(別紙2)

- ・魚食普及の取り組みとして、イセエビ漁の動画を制作し、YouTube チャンネル及び地元ケーブルテレビにおいてプロモーションを実施。

4. 取組の成果

(記載例)

交付金交付対象漁業者所得平均 1,411 千円 ※1

漁業集落漁業就業者数 25 名 ※2

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・サメ駆除については、漁獲物や漁具への被害軽減について一定の効果があると漁業者からの評価が高い。
- ・シラヒゲウニの中間育成については、実証実験の結果、放流エリアの選定を行うことで育成可能であることが証明されたことから継続して実施する。
- ・藻場造成に関して、放流後の定着・生育が確認されたため、今後も継続して実施する。

②漁業の再生に関する実践的な取組状況

- ・マグロの急速冷凍において鮮魚の長期保存が可能となったことから、対象魚種の拡大を進める。
- ・公民館講座や漁業体験の実施により、水産業及び水産物に興味を持つ親子が増加した。
- ・YouTube やケーブルテレビによる水産業の情報発信においては、島内外からの反響もあり、PR 効果や漁業に関する教育コンテンツとしての重要性が高いことから、引き続き実施する。